



自然科学研究Ⅰ（第1学年理数科）



「電気」

1年生の自然科学研究Ⅰで「電気」のユニットでコンデンサーの学習を行いました。はじめにコンデンサーが電荷を蓄える仕組み・用途等を学びました。講義後、厚紙・アルミホイル・ラップを用いて、自作のコンデンサーを設計・作成しました。



「コンデンサー発表」（11月12日）

自作のコンデンサーを設計・作成し、電気容量が変化する仕組みと工夫点について、エレベーター・トーク(エレベーターが目的の階に到着するまでのごく短い時間の中で、自分の言いたいことを相手にわかりやすく簡潔に伝える会話術のこと。今回は30秒)しました。

このユニットを通して、コンデンサーの電気容量の式の持つ意味を、イメージとしてつかむことができました。



坊っちゃん科学賞 研究論文コンテスト (高校部門)

第15回坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト(高校部門)において、36Hの柴さん、中山絢さん、松原さん、村山さんの研究『ドジョウ飼育水における様々な温度での環境DNA量の経時変化』が入賞、36Hの鍋島さん、秦さん、羽多さん、松田さんの研究『コンクリートの中性化を防ぐには』が佳作に選ばれました。この論文コンテストは毎年、全国規模の高校生がエントリーする大きなイベントであり、今回入賞した柴さん、中山絢さん、松原さん、村山さんの研究論文は来年2月頃に発行される研究論文コンテストの作品集に掲載されます。



柴さん、中山絢さん、松原さん、村山さん
『ドジョウ飼育水における様々な温度での
環境DNA量の経時変化』

羽多さん、松田さん、鍋島さん、秦さん
『コンクリートの中性化を防ぐには』

グローバルサイエンティストアワード “夢の翼”

11月10日(日)、オンラインで行われたグローバルサイエンティストアワード”夢の翼”で、26Hの北谷内さん、竹澤さん、山端さん、山口色さんの研究『七尾高校所蔵「ヤマイヌ剥製標本」はニホンオオカミか。』が審査員特別賞、26Hの飯井さん、丹後さん、辻口さん、中田さんの研究『粘着テープにおける摩擦ルミネッセンスの発生条件について』が奨励賞を受賞しました。この研究コンテストには日本からだけでなくシンガポールや台湾の生徒も含め、約80件の研究がエントリーしました。

